

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第9週 (2/28-3/6) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	9週	8週	7週	6週
小児科	18	18	18	17
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	27
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数  
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	2/28-3/6	2/21-2/27	2/14-2/20	2/7-2/13	2/21-2/27
			9週	8週	7週	6週	8週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	1	0	0	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	3	3	4	25
	感染性胃腸炎	○	121	95	85	99	487
	水痘		0	0	1	0	5
	手足口病		0	0	1	1	2
	伝染性紅斑		0	1	0	1	2
	突発性発しん		4	10	7	4	28
	ヘルパンギーナ		0	0	1	1	0
	流行性耳下腺炎		1	0	1	0	1
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	1	1
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		0	0	1	0	3
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患: 3,515 例 ※ 新型コロナウイルス感染症3,507例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	結核	男性	80歳代	画像検査
結核	男性	20歳代	IGRA検査	結核	女性	70歳代	IGRA検査等
結核	男性	20歳代	IGRA検査	E型肝炎	男性	40歳代	血清IgA抗体の検出
結核	男性	60歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~90歳代	病原体遺伝子の検出等
結核	男性	70歳代	病原体の分離・同定	-	-	-	-

\* 第9週は、結核7例(29)、E型肝炎1例(5)、新型コロナウイルス感染症3,507例(33,161)の発生届があった。

※ ( )内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第9週のコメント

### <感染性胃腸炎>

前週より増加し6.72となった。過去10年の同時期と比べると平均(5.63)を上回り多め。2歳で最も多い他、3歳、5歳、10歳代前半及び20歳以上で過去3週間を上回り増加した。

区別の発生状況は、緑区(11.25)で最多で、同区の2歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\\_ward2022.pdf](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf)